

ネット型ゲーム 「テニスを基にした易しいゲーム」

ネット型ゲームは、基本的なボール操作とボールを操作できる位置に体を移動する動きによって易しいゲームをして、集団対集団などで競い合う楽しさや喜びに触れることのできる運動です。本単元例は、テニスを基にした易しいゲームを取り上げて、ゲームにつながる運動と規則を工夫しながらゲームをする時間を多く設定することで、基本的な技能を身に付けながら、自己やチームに適した規則でゲームに進んで取り組むことができる授業を展開するようにしています。

単元の目標

- ネット型ゲーム（ミニテニス）の行い方を知るとともに、基本的なボール操作とボールを操作できる位置に体を移動する動きによって、易しいゲームをすることができるようにする。
- 規則を工夫したり、簡単な作戦を選んだりするとともに、考えたことを友達に伝えることができるようにする。
- ネット型ゲーム（ミニテニス）に進んで取り組み、規則を守り誰とでも仲よく運動をしたり、勝敗を受け入れたり、友達の考えを認めたり、場や用具の安全に気を付けたりすることができるようにする。

指導と評価の計画（8時間）

時間	1	2	3	4	5
ねらい	学習の見通しをもつ		ミニテニスの行い方を知り、規則を工夫して、いろいろなチームとゲームをして楽しむ		
学習活動	オリエンテーション 1 集合、挨拶、健康観察をする 2 単元の学習の見通しをもつ ○単元の目標と学習の進め方を知る。 ○チームを確認する。 ○学習のきまりを知る。 3 本時のねらいを知り、目標を立てる 4 場と用具の準備をする ○場や用具の準備と片付けの仕方を知る。 5 準備運動、ゲームにつながる運動をする ○準備運動、ゲームにつながる運動の行い方を知る。 6 ゲームをする ○テニスを基にした易しいゲームの行い方を知る。 ○チーム内で2対2に分かれて、ゲームをする。		1 集合、挨拶、健康観察をする 2 本時のねらいを知り、 5 ゲームにつながる運動をする 全てのチームとゲームをする (相手チームを替えて、1時間に1～2ゲーム) 6 ゲームをする ○相手チームを決め、規則を選んでゲームをする。 ○チームでゲーム1を振り返り、選んだ規則について考えたことを伝える。 ○相手チームを替え、規則を選んでゲーム2をする。		
	7 本時を振り返り、次時への見通しをもつ		8 整理運動、場や用具の片付けをする		
評価の重点	知識・技能		① 観察・学習カード		
	思考・判断・表現			① 観察・学習カード	
	主体的に学習に取り組む態度	⑥ 観察・学習カード	④ 観察・学習カード	③ 観察・学習カード	② 観察・学習カード

単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① ネット型ゲーム（ミニテニス）の行い方について、言ったり書いたりしている。 ② 相手コートから飛んできたボールを相手コートに打ち返してゲームをすることができる。 ③ 相手コートから飛んできたボールを操作しやすい位置に移動してゲームをすることができる。	① 規則を工夫している。 ② 簡単な作戦を選んでいる。 ③ 課題の解決のために考えたことを友達に伝えている。	① ネット型ゲーム（ミニテニス）に進んで取り組もうとしている。 ② ゲームの規則を守り、誰とでも仲よくしようとしている。 ③ 用具などの準備や片付けを、友達と一緒にしようとしている。 ④ 勝敗を受け入れようとしている。 ⑤ 友達の考えを認めようとしている。 ⑥ 周囲を見て、場や用具の安全を確かめている。

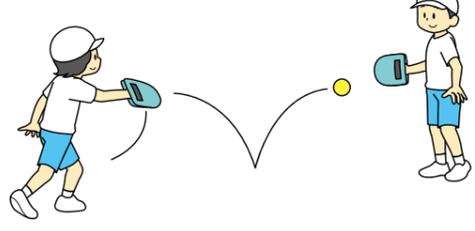
6	7	8
相手チームを決めて、簡単な作戦を選んでゲームを楽しむ		学習のまとめをする
目標を立てる 3 場や用具の準備をする 4 準備運動をする 5 ゲームにつながる運動をする 相手チームを決めてゲームをする (相手チームを替えずに、1時間に2ゲーム) 6 ゲームをする ○チームで簡単な作戦を選んで、ゲームをする。 ○チームでゲーム1を振り返り、選んだ作戦について考えたことを伝える。 ○チームで作戦を確認して、ゲーム2をする。		
9 集合、健康観察、挨拶をする		学習のまとめ ミニテニス大会をする (相手チームを替えて3ゲーム) 5 ゲームにつながる運動をする 6 ミニテニス大会をする 7 単元を振り返り、学習のまとめをする 8 整理運動、場や用具の片付けをする 9 集合、健康観察、挨拶をする
	② 観察	③ 観察
② 観察・学習カード	③ 観察・学習カード	
⑤ 観察・学習カード	① 観察・学習カード	

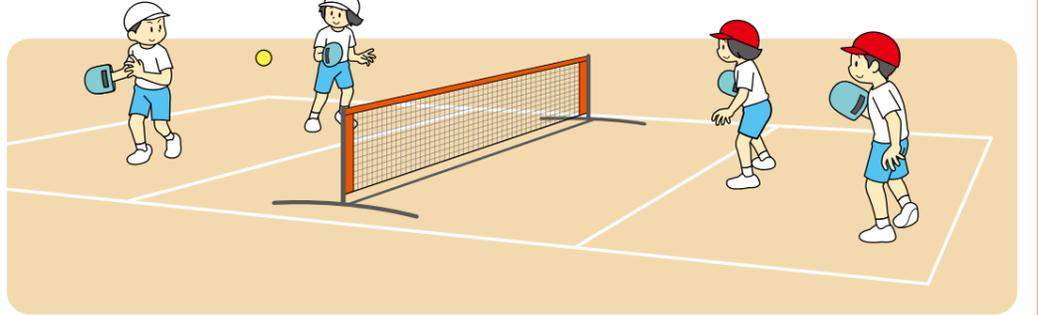
本時の目標と展開① (1/8時間)

本時の目標

- (1) ネット型ゲーム (ミニテニス) の行い方を知ることができるようにする。
- (2) 規則を工夫することができるようにする。
- (3) 周囲を見て場や用具の安全を確かめることができるようにする。

本時の展開

時間	学習内容・活動	指導上の留意点
5分	<p>1 集合, 挨拶, 健康観察をする</p> <p>2 単元の学習の見直しをもつ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○単元の目標と学習の進め方を知る。 ○チームを確認する。 ○学習のきまりを知る。 <p>学習のきまりの例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・用具は正しく使いましょう。 ・周囲を見て場の安全を確かめましょう。 ・フェアなプレイを大切にしましょう。 ・ゲームの規則を守り, 誰とでも仲良くしましょう。 ・チームの友達の考えを認めましょう。 <p>3 本時のねらいを知り, 目標を立てる</p> <p style="text-align: center;">ミニテニスの学習の進め方を知り, 学習の見直しをもつ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○本時のねらいを知り, 自己の目標を立てる。 ○学習カードを配り, 使い方を説明する。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 掲示物を活用するなどしながら, 分かりやすく説明する。 ● どのチームも同じくらいの力になるように配慮して, 四人を基本としたチームを事前に決めておく。
20分	<p>4 場や用具の準備をする</p> <ul style="list-style-type: none"> ○場や用具の準備と片付けの仕方を知る。 ○チームで協力して, 準備をする。 <p>場や用具の準備と片付けのきまりの例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動をする場所に危険物がなく確かめ, 見付いたら取り除きましょう。 ・運動に使う用具などは, 友達と一緒に, 決まった場所から安全を確かめて運びましょう。 ・安全に運動ができるように, 服装などが整っているか, 確かめましょう。 <p>5 準備運動, ゲームにつながる運動をする</p> <ul style="list-style-type: none"> ○準備運動, ゲームにつながる運動の行い方を知る。 ○学級全体やチームで準備運動, ゲームにつながる運動をする。 <p>準備運動の例</p> <ul style="list-style-type: none"> ○徒手での運動 … 肩, 腕, 手首, 腿, 膝, ふくらはぎ, 足首などをほぐす運動をチームで選ぶ。 <p>ゲームにつながる運動の例</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ボールを打ち上げる ○ワンバウンドでラリーをする <p>準備運動の例</p>  <p>ゲームにつながる運動の例</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・ラケットでボールを真上に連続して打ち上げる。 ・チームの友達と2m程度の間隔で向かい合い, ワンバウンドで易しいボールを送り合ってラリーを続ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 安全な準備と片付けの仕方を説明する。 ● 安全を確かめている様子を取り上げて, 称賛する。 ● けがの防止のために適切な準備運動の行い方について, 実際に動いて示しながら説明する。

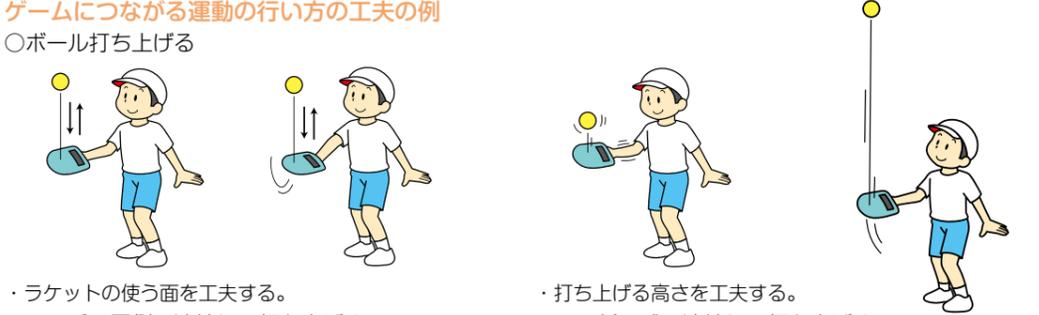
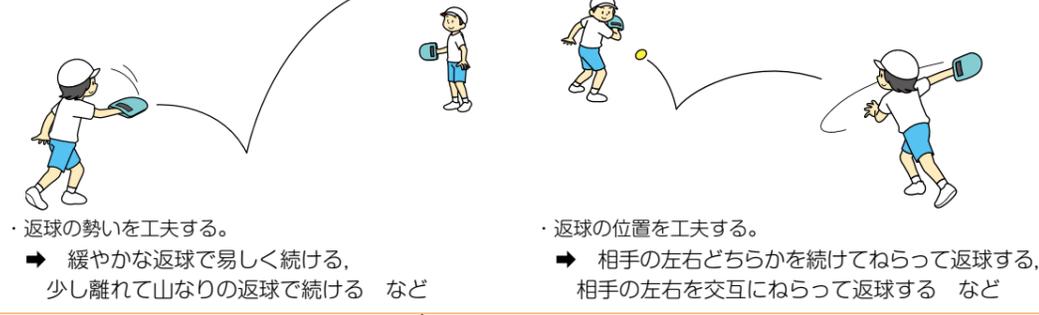
15分	<p>6 ゲームをする</p> <ul style="list-style-type: none"> ○テニスを基にした易しいゲームの行い方を知る。 ● 易しいゲームの行い方について, 学習資料やICT機器を活用したり, 実際に動いて示したりしながら説明する。 <p>ミニテニス (テニスを基にした易しいゲーム) の行い方の例</p> <ul style="list-style-type: none"> ○1チーム二人組のゲーム  <ul style="list-style-type: none"> ・サービスは, 相手が打ち返しやすい場所にワンバウンドさせるように打ち入れる。(もしくは投げ入れる) ・サービスの後は, 相手コートから来てノーバウンドもしくはワンバウンドしたボールを1回で相手コートに打ち返す。(二人のうちどちらが打ち返してもよい。チーム内でのパスはできない) ・打ち入れたボールが相手コート内に入らなかったり, 自分のコートに打ち入れられたボールをワンバウンド以内に相手コートに打ち返すことができなかつたら, 相手チームに得点が入る。 ・安全のため, ネットに触ったりネットを越えて相手コート側に手を伸ばしたりはしない。 <p>○チーム内で2対2に分かれて, ゲームをする。(2分程度のゲーム)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 各チームが使用するコートと, 本時は得点を競うことよりもラリーを続けることを目指してゲームをするように伝える。 ● 安全を確かめている様子を取り上げ, 称賛する。 <p>◆学習評価◆ 主体的に学習に取り組む態度</p> <p>⑥周囲を見て場や用具の安全を確かめている。</p> <p>➡ 練習やゲームをする際に, コートやその周辺に危険物がないかなど, 安全を確かめている姿を評価する。(観察・学習カード)</p> <p>◎安全を確かめることに意欲的でない児童への配慮の例</p> <p>➡ 使わないボールを置く場所やゲームを見る位置などを決まり, チームの友達と一緒に安全を確かめて, 安全であることを伝え合ったりするなどの配慮をする。</p> <p>● ラリーが続いている動き取り上げて, 称賛する。</p> <p>◎ボールを打つことが苦手な児童への配慮の例</p> <p>➡ ボールを打ちやすい位置(体のやや前)を確認して, 打つ動きに慣れるまでは打ち返すのではなく, 手の平で触って押し返すように易しく打つようにするなどの配慮をする。</p>	<p>5分</p> <p>7 本時を振り返り, 次時への見直しをもつ</p> <p>本時の振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゲームをして楽しかったことや難しかったことなど, 気付いたことや考えたことを書きましょう。 ・安全を確かめることについて, 気付いたことや考えたことを書きましょう。 ・単元の学習で身に付けたいことや楽しみたいことなど, 自己やチームの目標を書きましょう。 <p>○振り返りを発表して, 友達に伝える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 振り返りを学習カードに記入するように伝えるとともに, 気付きや考えのよさを取り上げて, 称賛する。 ● 整理運動の行い方について, 実際に動いて示しながら説明するとともに, けががないかなどを確認する。 <p>8 整理運動, 場や用具の片付けをする</p> <p>9 集合, 健康観察, 挨拶をする</p>
-----	---	---

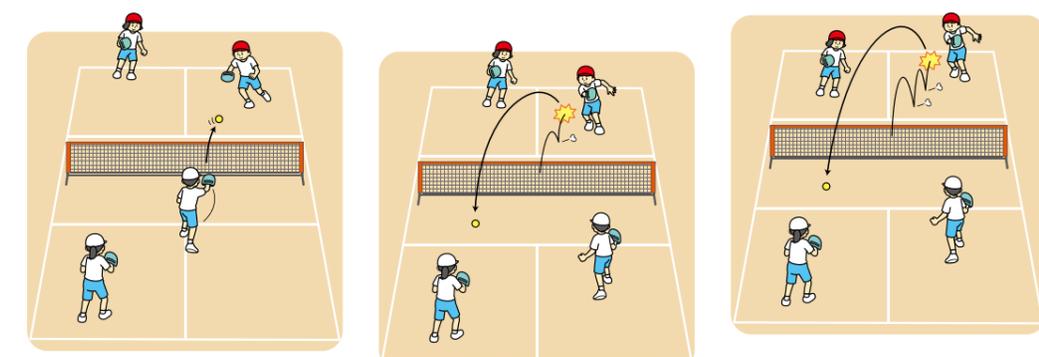
本時の目標と展開② (4/8時間)

本時の目標

- (1) 相手コートから飛んできたボールを相手コートに打ち返してゲームをすることができるようにする。
- (2) 規則を工夫することができるようにする。
- (3) ゲームの規則を守り、誰とでも仲よくすることができるようにする。

本時の展開

時間	学習内容・活動	指導上の留意点
10分	1 集合、挨拶、健康観察をする 2 本時のねらいを知り、目標を立てる	
	規則を工夫して、いろいろなチームとゲームをしよう	
15分	3 場や用具の準備をする 4 準備運動をする	<ul style="list-style-type: none"> ● 学習カードを配り、立てた目標を記入するように伝える。 ● 安全な準備の仕方を確認する。 ● けがの防止のために適切な準備運動を行うように伝える。
	5 ゲームにつながる運動をする	● 全員が基本的なボール操作とボールを操作できる位置に体を移動する動きに慣れることができるように、十分な時間を確保する。
<p>ゲームにつながる運動の行い方の工夫の例</p> <p>○ボール打ち上げる</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・ラケットの使う面を工夫する。 <ul style="list-style-type: none"> ➔ 手の平側で連続して打ち上げる 手の甲側での連続して打ち上げる など ・打ち上げる高さを工夫する。 <ul style="list-style-type: none"> ➔ 低い球で連続して打ち上げる 高い球で連続して打ち上げる など <p>○ワンバウンドでラリーをする</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・返球の勢いを工夫する。 <ul style="list-style-type: none"> ➔ 緩やかな返球で易しく続ける、少し離れて山なりの返球で続ける など ・返球の位置を工夫する。 <ul style="list-style-type: none"> ➔ 相手の左右どちらかを続けてねらって返球する、相手の左右を交互にねらって返球する など <p>○課題解決のために考えたことを伝える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 考えたことを伝えていることを取り上げて、称賛する <p>●ボールを打ち返すことが苦手な児童への配慮の例</p> <ul style="list-style-type: none"> ➔ 返球が大きくなり過ぎる児童には、腕を大きく振らずにボールにラケットをしっかりと当て、ボールがネットを越えてコートに落ちるくらいに力を加減するなどの配慮をする。 ➔ 返球が相手コートに届かない児童には、ボールを下から前にすくい上げるように打ち、ボールに当たったラケットを止めずにそのまま押し出すようにするなどの配慮をする。 		

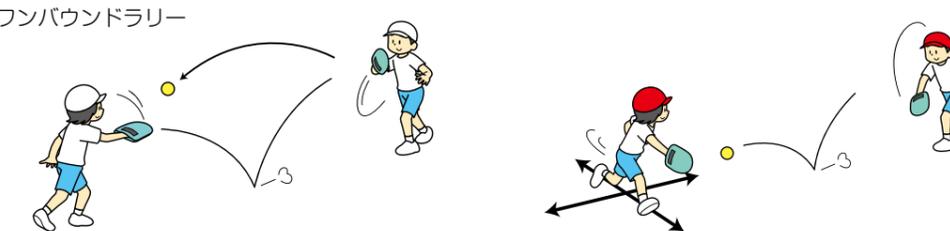
全てのチームとゲームをする 相手チームを替えてゲームをして、2～5時間で全てのチームと対戦できるようにする	
6	<p>ゲームする</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ミニテニスの規則の工夫の仕方を知る。 ● ミニテニスの規則の工夫の仕方について、学習資料やICT機器を活用したり、実際に動いて示したりしながら説明する。 <p>ミニテニスの規則の工夫の例</p> <ul style="list-style-type: none"> ○サービスは緩やかに打つ。(ボールを優しく下から打つ) ○サービスとサービスの返球までは、失敗しても失点にせずやり直す。 ○ツーバウンドまでは返球できることとする。  <p style="text-align: center;">ゲーム進行や安全への配慮などの基本的な規則は全チーム同じものになりますが、返球やラリーを続けるための規則などは、楽しくゲームができるものをチームで選びましょう。</p>
15分	<ul style="list-style-type: none"> ○相手チームを決め、規則を選んでゲーム1をする。(4名のうち、片方のペアで前半2分、もう片方のペアで後半2分のゲーム) ● 対戦をするチームと使用するコート伝える。 <p>●規則が難しいと感じて運動に意欲でない児童への配慮の例</p> <ul style="list-style-type: none"> ➔ 選ぶ規則を文字やイラスト等を用いて掲示しながら説明したり、より易しい規則を選ぶことを提案したりするなどの配慮をする。 <ul style="list-style-type: none"> ○チームでゲーム1を振り返り、選んだ規則について考えたことを伝える。 ● チームに適した規則を選んでいることを取り上げて、称賛する。 <p>◆学習評価◆ 思考・判断・表現</p> <p>①規則を工夫している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➔ 自己やチームの友達が楽しくゲームに参加できる規則を選んでいる姿を評価する。(観察・学習カード) <p>●規則を工夫することが苦手な児童への配慮の例</p> <ul style="list-style-type: none"> ➔ それぞれの規則のよさを伝えてどの規則も肯定できるようにしたり、いろいろな規則を試したりして、自己やチームに適した規則を見付けるようにするなどの配慮をする。
5分	<p>7 本時を振り返り、次時への見通しをもつ</p> <p>本時の振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゲーム1・ゲーム2の相手チームと、ゲーム結果を書きましょう。 ・選んだゲームの規則と、その規則でゲームをして気付いたことや考えたことを書きましょう。 <ul style="list-style-type: none"> ○振り返りを発表して、友達に伝える。 ● 振り返りを学習カードに記入するように伝えるとともに、気付いや考えのよさを取り上げて、称賛する。 <p>8 整理運動、場や用具の片付けをする</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 適切な整理運動を行うように伝えるとともに、けががないかなどを確認する。 <p>9 集合、健康観察、挨拶をする</p>

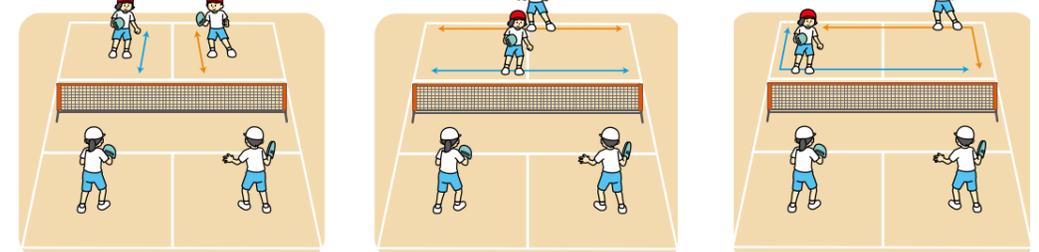
本時の目標と展開③ (6/8時間)

本時の目標

- (1) 相手コートから飛んできたボールを相手コートに打ち返してゲームをすることができるようにする。
- (2) 簡単な作戦を選ぶことができるようにする。
- (3) 友達の考えを認めることができるようにする。

本時の展開

時間	学習内容・活動	指導上の留意点
10分	1 集合, 挨拶, 健康観察をする 2 本時のねらいを知り, 目標を立てる	
	相手チームを決めて, 簡単な作戦を選んでゲームをしよう	
15分	3 場や用具の準備をする 4 準備運動をする	<ul style="list-style-type: none"> ● 学習カードを配り, 立てた目標を記入するように伝える。 ● 安全な準備の仕方を確認する。 ● けがの防止のために適切な準備運動を行うように伝える。
	5 ゲームにつながる運動をする	● 各チームの取組を観察し, 必要に応じて運動の行い方について実際に動いて示しながら説明する。
<p>ゲームにつながる運動の行い方の工夫の例</p> <p>○ボール打ち上げ</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・ラケットの使う面を工夫する。 → 慣れてきたら, 手の平側・手の甲側を交互に使い, 連続して打ち上げる など ・打ち上げる高さを工夫する。 → 慣れてきたら, 低い球と高い球を交互に打ち上げる など <p>○ワンバウンドラリー</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・返球の勢いを工夫する。 → 片方の側は山なりで返球し, もう片方の側はノーバウンドで返球する など ・返球の位置を工夫する。 → 相手の左右だけでなく前後への返球も織り交ぜてラリーを続ける など 		
○課題解決のために考えたことを伝える。		● 考えたことを伝えていることを取り上げて, 称賛する。
<p>◎ボールを打ち返す位置に移動することが苦手な児童への配慮の例</p> <ul style="list-style-type: none"> → ペアで分担した位置取りを確認するとともに, 緩やかな返球でのラリーで返球の位置を予測して準備をしたり動いたりすることに慣れるようにするなどの配慮をする。 → 体の右側・左側のどちらでも打てるようにするために体の正面でラケットを構えるようにするとともに, 移動して打ち返したら元の位置に戻るようになるなどの配慮をする。 		

相手チームを決めてゲームをする 6~7時間は1時間対戦する相手チームは替えずに, 作戦を選んでゲームをする。	
6	<p>ゲームする</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本時の相手チームを決める。 ○ ミニテニスの簡単な作戦を知る。 <ul style="list-style-type: none"> ● 対戦をするチームと使用するコート伝える。 ● ミニテニスの簡単な作戦について, 学習資料やICT機器を活用したり, 実際に動いて示したりしながら説明する。
15分	<p>ミニテニスの簡単な作戦の例 (ペアの並び方の作戦)</p> <p>○横並び作戦 ○縦並び作戦 ○斜め並び作戦</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・コート分左右に分担し, 前後に動いて返球する。 ・分担場所が分かりやすいが, ペアのカバーはしづらい。 ・コート前後に分担し, 左右に動いて返球する。 ・前の児童の返球が多くなり, 後ろの児童は, カバーに回ることが多くなりやすい。 ・コート斜めに分担し, 縦横に動いて返球する。 ・ペアのカバーをしやすいが, 分担場所は分かりづらい。 <p>○ チームで簡単な作戦を選んで, ゲーム1をする。(4分程度のゲーム)</p> <p>○ チームでゲーム1を振り返り, 選んだ作戦について考えたことを伝える。 ○ 必要に応じて作戦を選び直すなど, チームで作戦を確認して, ゲーム2をする。(4分程度のゲーム)</p>
	<p>◆学習評価◆ 思考・判断・表現</p> <p>②簡単な作戦を選んでいる。</p> <p>→ ゲームをする際の簡単な作戦を選んでいる姿を評価する。(観察・学習カード)</p> <p>◎簡単な作戦を選ぶことが苦手な児童への配慮の例</p> <p>→ 自己や友達がどんな動きをしながらゲームをするのかを考えるように助言して, チームの全員が楽しくゲームができる作戦を選ぶようにするなどの配慮をする。</p> <p>● 友達の考えを認めようとしている様子を取り上げて, 称賛する。</p> <p>◆学習評価◆ 主体的に学習に取り組む態度</p> <p>⑤友達の考えを認めようとしている。</p> <p>→ ゲームの振り返りや自己の考えを発表し合う際などに, 発表された友達の考えを認めようとしている姿を評価する。(観察・学習カード)</p> <p>◎友達の考えを認めることに意欲的でない児童への配慮の例</p> <p>→ 発表を聞こうとしなかったり友達の考えを否定することを言ったりする児童には, 人はそれぞれに考えに違いがありそれを認めることが大切であることを伝えるとともに, それぞれの考えのよさを取り上げて, 気付くようにするなどの配慮をする。</p>
5分	<p>7 本時を振り返り, 次時への見通しをもつ</p> <p>本時の振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本時の相手チームと, ゲーム1・ゲーム2の結果を書きましょう。 ・ 選んだ簡単な作戦と, その作戦でゲームをして気付いたことや考えたことを書きましょう。 ・ 友達の考えを認めることについて気付いたことや考えたことを書きましょう。 <p>○ 振り返りを発表して, 友達に伝える。</p> <p>● 振り返りを学習カードに記入するように伝えるとともに, 気付くことや考えのよさを取り上げて, 称賛する。</p> <p>● 適切な整理運動を行うように伝えるとともに, けががないかなどを確認する。</p>
8	整理運動, 場や用具の片付けをする
9	集合, 健康観察, 挨拶をする

本時の目標と展開④ (8/8時間)

本時の目標

- (1) 相手コートから飛んできたボールを操作しやすい位置に移動してゲームをすることができるようにする。
- (2) 課題の解決のために考えたことを友達に伝えることができるようにする。
- (3) ネット型ゲーム(ミニテニス)に進んで取り組むことができるようにする。

本時の展開

時間	学習内容・活動	指導上の留意点
15分	1 集合, 挨拶, 健康観察をする 2 本時のねらいを知り, 目標を立てる	
	ミニテニス大会で楽しくゲームをして, 学習のまとめをしよう	
	<ul style="list-style-type: none"> ○本時のねらいを知り, 自己の目標を立てる。 ○チームで協力して, 準備をする。 ○チームで準備運動をする。 ○自己やチームに適した行い方を選んで, チームでゲームにつながる運動をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ●学習カードを配り, 立てた目標を記入するように伝える。 ●安全な準備の仕方を確認する。 ●けがの防止のために適切な準備運動を行うように伝える。 ●チームの作戦につながる行い方を選ぶように伝える。
20分	6 ミニテニス大会をする ○ミニテニス大会の行い方を知る。	●ミニテニス大会の行い方を説明する。
	<p>ミニテニス大会の行い方やきまり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各チーム3回ゲームをします。ゲームの間にチームの話し合いの時間を十分に取ることができないので, ゲームの前にはペアやチームで手短かに考えを確認し合うようにしましょう。 ・全員が楽しくゲームができるように, 元気よく気持ちのよい応援をしましょう。 <ul style="list-style-type: none"> ○ゲーム1・ゲーム2・ゲーム3の相手チームを確認する。 ○チームで簡単な作戦を選んで, ゲーム1をする。(4分程度のゲーム) ○チームで選んだ作戦を確認して, ゲーム2をする。(4分程度のゲーム) ○チームで選んだ作戦を確認して, ゲーム3をする。(4分程度のゲーム) 	<ul style="list-style-type: none"> ●対戦をするチームと使用するコート伝える。 <p>◆学習評価◆ 主体的に学習に取り組む態度 ①ネット型ゲーム(ミニテニス)に進んで取り組もうとしている。</p> <p>➔ ミニテニスのゲームやゲームにつながる運動, チームでの話し合いなどに進んで取り組もうとしている姿を評価する。(観察・学習カード)</p> <p>◆学習評価◆ 知識・技能 ③相手コートから飛んできたボールを操作しやすい位置に移動してゲームをすることができる。</p> <p>➔ 作戦に応じた位置で構え, 飛んできたボールを操作しやすい位置に移動してボールを打ち返したり作戦に応じた位置に戻ったりして, ゲームをしている姿を評価する。(観察)</p>
10分	7 単元を振り返り, 学習のまとめをする	
	単元の学習の振り返り	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ミニテニス大会のゲーム1からゲーム3の相手チームと, ゲームの結果を書きましょう。 ・単元の学習の自己やチームの目標で, 達成したことを書きましょう。 ・学習したことで, 今後の学習や日常生活の中で取り組んでいきたいことを書きましょう。 <ul style="list-style-type: none"> ○振り返りを発表して, 友達に伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ●振り返りを学習カードに記入するように伝えるとともに, 気付きや考えのよさを取り上げて, 称賛する。 ●適切な整理運動を行うように伝えるとともに, けががないかなどを確認する。
8 整理運動, 場や用具の片付けをする 9 集合, 健康観察, 挨拶をする		

2学年間にわたって取り扱う場合

【第3学年における指導と評価の計画(ネット型ゲーム「天大中小」)】

時間	1	2	3	4	5	6	7	8
ねらい	学習の見通しをもつ	規則を工夫してゲームをすることを楽しむ			簡単な作戦を選んでゲームをすることを楽しむ			学習のまとめをする
学習活動	オリエンテーション <ul style="list-style-type: none"> ○学習の見通しをもつ ・学習の進め方 ・学習のきまり 	天大中小 チームでゲームをする <ul style="list-style-type: none"> ○ゲームにつながる運動 ・一人で連続ボールつき ・二人でワンバウンドラリー 			天大中小 相手チームを決めてゲームをする <ul style="list-style-type: none"> ○ゲームにつながる運動 ・四人でワンバウンドラリー 			学習のまとめ <ul style="list-style-type: none"> ○天大中小大会 簡単な作戦を選んでいろいろなチームとゲームをする ○学習のまとめをする
	<ul style="list-style-type: none"> ○天大中小 チームでラリーを続ける易しいゲーム 	<ul style="list-style-type: none"> ○ゲームをする ・チームでゲームの規則を選ぶ ・チームでラリーを続けるゲームをし, 続いたラリーの回数を競う 			<ul style="list-style-type: none"> ○ゲームをする ・相手チームを決めて簡単な作戦を選ぶ(コートの広さを決める, チームでは易しいボールをつなげるなど) ・2人対2人のゲーム1をする ・ゲーム1を振り回り, 作戦を確認してゲーム2をする 			
	知識・技能 ① 観察・学習カード					② 観察		③ 観察
	主体的に学習に取り組む態度 ⑥ 観察・学習カード			④ 観察・学習カード			② 観察・学習カード	③ 観察・学習カード

●評価標準のゲームは「天大中小」とする。

【低学年「相手コートにボールを投げ入れるボールゲーム」との円滑な接続を図るための工夫(例)】



- 「ボールを片手で打ちつけること」, 「ボールを操作しやすい位置に移動すること」を身に付けるために
低学年では, 相手コートにボールを投げ入れるゲームで, ボールを落とさないように捕ったりはじいたりするゲームをして遊びました。中学年では, ボールを片手で打ちつけること, ボールを操作しやすい位置に移動することができるようにします。そのため中学年のはじめでは, ボールを打ちつける機会が多くなる運動や自己が移動する範囲が広くないゲームをすることで, 基本的なボール操作とボールを操作できる位置に体を移動する動きを繰り返し行うようにしましょう。

(例) 連続ボールつき, ワンバウンドラリー

- ・まりつきのように一人で連続してボールをつく運動で, 回数を増やしたり, 左右の手で交互に打ちつけたりする。
- ・二人組で向かい合い, 打ち付けたボールでパスをしてワンバウンドラリーをする。慣れてきたら, 二人組と二人組で向かい合い, 四人でパスをしてワンバウンドラリーをする。

(例) チームでラリーを続けるゲーム

- ・チーム内で競い合わず, チームでラリーを続ける規則のゲームをする。
- ・使うボール, それぞれが守るコートの大きさ, 捕ることやツープウンドを認めることなど, ラリーが続きチームのみんなが楽しくゲームに参加できる規則を選ぶ。

【第3学年において重点を置いて指導する内容(例)】

- 知識及び技能
基本的なボール操作は, 片手でボールを打ちつけてねらった方向に飛ばすことができるようにしましょう。基本的なボールを操作できる位置に移動する動きは, 分担したコートの中で, ボールの動きに合わせて移動することができるようにしましょう。
- 思考力, 判断力, 表現力等
規則の工夫は, 学級全体での話し合いで出された工夫の中から, チームのみんなが楽しくゲームに参加できる規則を選ぶことができるようにしましょう。作戦の工夫は, 規則の工夫を基にして分担するコートの広さを決める, チームメイトには打ちやすいボールをつなげるなど簡単な作戦を選ぶことができるようにしましょう。
- 学びに向かう力, 人間性等
チームでゲームをする活動においては, 自己や友達の失敗を責めず仲よくしようとする, 他のチームとゲームをする活動においては, ゲームの最中や終了後の勝敗を受け入れることができる態度を育みましょう。また, 各コートで判定や得点などを友達と一緒にしようとしながらゲームを進めることができるようにしましょう。